

対話 イン 山形 2010 学生事後アンケート結果

対話出席者 : 47名 (理学部 25名、農学部 15名、工学部 7名、全員 1年生)

アンケート回答者 : 46名

1. 基礎情報

希望進路	人数	割合
進学	27名	59%
就職	12	26
その他	0	0
無回答	8	17

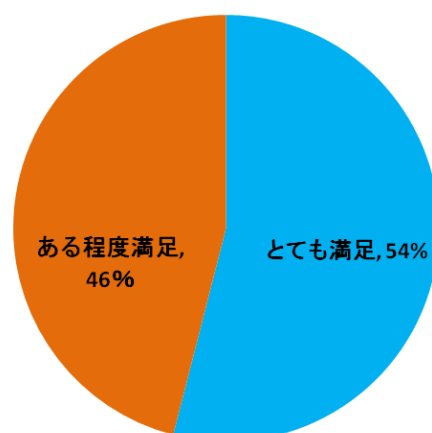
(進学と就職の重複者あり)

就職先を①メーカ、②研究機関 (大学含)、③サービス (電力含)、④その他として希望を取ったが、進学希望者、就職希望者ともに回答したものが多かった。内訳は、研究機関 (大学含) が圧倒的に多く (21名)、メーカならびにサービス (電力含) は0であった。まだ先のことで、それ程真剣に考えていないのではないかと思われる。

2. 講義の満足度

(1) 原子力発電

講義1 満足度



(やや不満 : 0
大いに不満 : 0)

(理由)

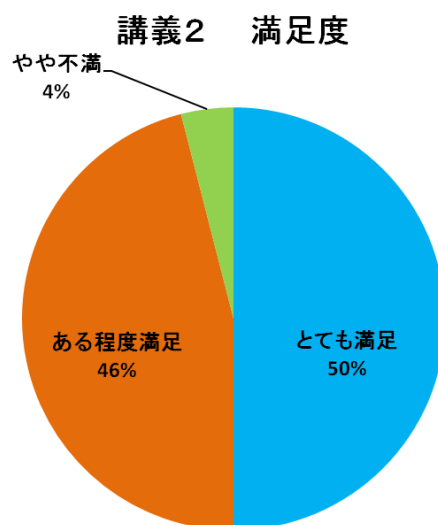
(a) とても満足

- ・分かりやすく理解できた。
- ・より詳しい話を聞くことができた。
- ・方法、技術面でよく理解できた。
- ・原子炉の種類の説明が詳しくてよかった。
- ・原子力発電の仕組みを詳しく知ることができた。
- ・知らなかったことを多く知ることができた。
- ・実際の映像なども含まれていてわかりやすかった。
- ・仕事にたずさわっていた人の話を直接聞いてよかった。
- ・非常に詳細に話して下さって興味深かった。

(b) ある程度満足

- ・理解が深まった。
- ・仕組みを詳しく知ることができた。(所どころ不明な点あり)
- ・安全性についてわかった。
- ・少し話のテンポが速かった。
- ・少し難しかったが、大体の形を理解することができた。
- ・基礎からていねいに教えていただいた。
- ・原子力発電の原理、最新技術を知ることができた。
- ・難しいながらも、原子力のことを一から知ることができた。

(2) 高レベル廃棄物処理



(大いに不満 : 0)

(理由)

(a) とても満足

- ・興味のある内容だった。
- ・地中に埋めて大丈夫かなという疑問が解けた。
- ・説明が聞きとりやすかった。うまくまとめられており、わかりやすかった。
- ・ガラス固化法がよくわかった。
- ・今まで疑問だった地層処分がよくわかった。
- ・よく知らなかったが、勉強になった。
- ・日本以外の対応も知ることができた。
- ・廃棄物処理の安全に対する取組みを知ることができた。
- ・これ程長く、詳しい話を聞いたことがなかった。
- ・安全性の面がよく理解できた。
- ・あまりなじみのない内容だったが、理解することができた。

(b) ある程度満足

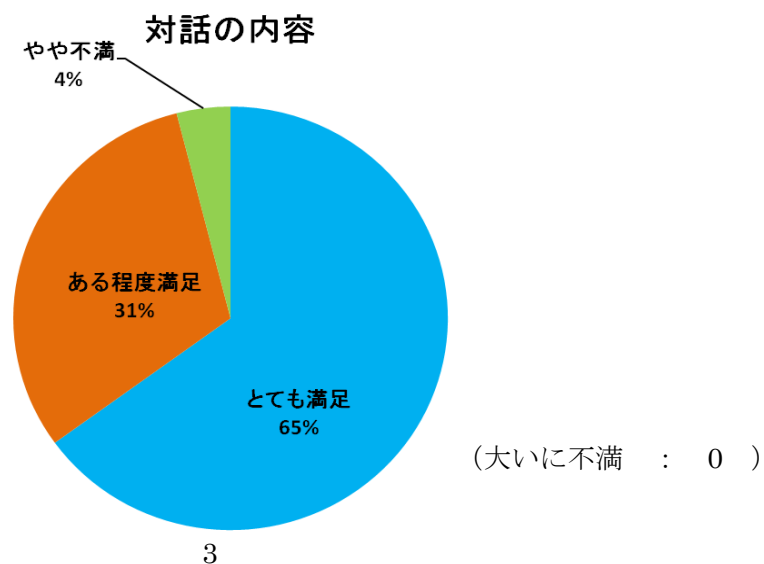
- ・放射性廃棄物に関する問題やそれに対する取組みを知ることができた。
- ・PPTの講義で見やすかった。
- ・高レベル廃棄物とは何かがわかった。
- ・難しい問題だったがおもしろかった。
- ・廃棄物が多量に出るとの懸念を除くことができた。

(c) やや不満

- ・内容が難しくあまり理解できなかった。

3. 対話について

(1) 対話の内容は満足のいくものでしたか。



(理由)

(a) とても満足

- ・自分の知らない新鮮なものでした。
- ・シニアの意見はおもしろいものがあった。
- ・他の人の意見を聞いた。
- ・今まで気になっていたことがよくわかった。
- ・経験豊かな方々にていねいに教えていただき、よい経験ができた。
- ・疑問、知りたいことをていねいに教えてくれた。
- ・シニアの方が情熱的でよかった。
- ・思ってもみない質問が他の人から出たりして、いろいろ聞くことができた。
- ・自分の視野を広げ、考え方を見つめ直すことができた。
- ・つっこんだ内容の対話となった。

(b) ある程度満足した

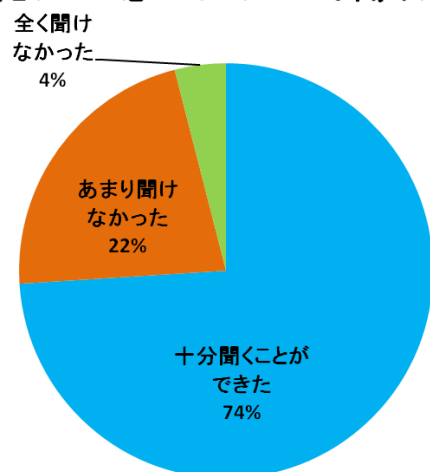
- ・時間が若干足りなかった。
- ・質問に明確な答えを示してくれた。
- ・直接企業OBと話すことができた。
- ・知らないことが沢山あり、とても知識が増えた。
- ・自分にはない意見を多数聞くことができ、知識が増えた。

(c) やや不満

- ・話がそれた。
- ・学生がもっと積極的になればよかった。

(2) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか。

聞きたいと思っていたことは聞けたか



(理由)

(a) 十分聞くことができた

- ・テーマに沿った質問で解答も十分だった。
- ・放射線に関わる仕事や資格について詳しく聞くことができた。
- ・例もあげて詳しく説明してくれた。
- ・環境問題の話をもっと聞けた。
- ・質問に詳しく答えてくれた。
- ・きちんと対話することができた。
- ・食品照射が積極的に行われない理由を知ることができた。
- ・放射線の農業への利用について沢山学べた。
- ・違う視点の話も聞けた。
- ・十分すぎる程でいいであった。

(b) あまり聞けなかった

- ・グループのテーマと関係なかったので討議されず。
- ・沢山聞けたが、話がそれていった。
- ・時間が少なかった。
- ・自分の予定していた内容と少し異なってしまった。

(c) 全く聞けなかった

- ・質問を全てアドリブで作ったから。

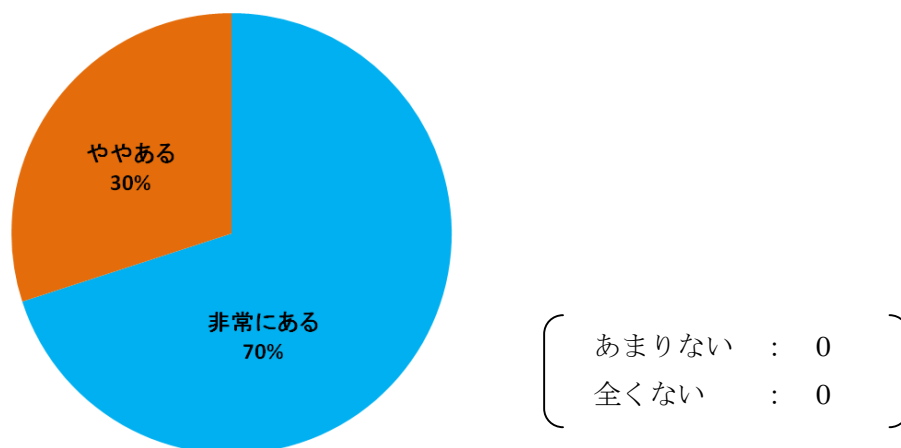
(3) 今回の対話で得られたことは何ですか。

- ・原子力発電についての幅広い理解。
- ・核燃料サイクルの知識。
- ・高レベル廃棄物についての知識、処理方法など。
- ・メディアに踊らされず、自分で真実を見つけることの大切さを知った。
- ・大学生としての責任。
- ・原子力発電についてとても興味をもった。
- ・若い世代が原子力発電に対する正しい理解と認識をもつことの重要性。
- ・原子力について深く学んだため、原子力に対する意見が変わった。
- ・放射線が様々な分野で利用されていることを、さらに詳しく知ることができた。
- ・このような経験を得られたことが大きかった。様々な考えを聞けた。
- ・原子力にかかわる色々な視点や複雑さを知れた。
- ・原子力発電は安全面をしっかりとすれば非常に有用である。
- ・原子力は危ないと思いがちだが、まず知ることが大事であるということ。

- ・原子力発電への興味と知識。

(4) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか。

「学生とシニアの対話」の必要性



(理由)

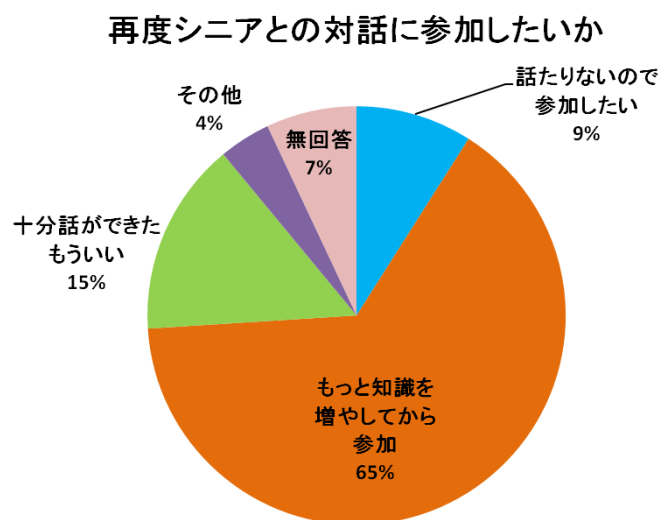
(a) 非常にある

- ・シニアは豊富な経験から独自の考えをもっておられるので、話を聞くとためになる。
- ・自分と立場の違う人の意見を聞くのはとても貴重なこと。
- ・見識が大いに広がる。
- ・授業を受ける前は放射線は怖いものと思っていたが、授業を受けてそうではなくなった。このような人は多くいると思う。
- ・経験豊かな方から話を聞くことができる機会は少ない。
- ・少人数での対話であるので、自分の疑問など気軽に聞くことができた。
- ・学生だけでは解決できない問題を解決するには、知識、経験豊かなシニアとの対話が有用である。
- ・自分達が生まれる前に経験された話は有意義でした。
- ・日常的に対話することのない世代の人との対話であり、それだけでも良い経験になった。
- ・学生は原子力発電に関する知識が少ない。知識の豊富な人から正しいことを学ぶ必要がある。
- ・このような機会でないと聞けないことや話し合えないことがあると思う。
- ・世代の違う人の意見をきちんと聞いて視野を広げるべきだと思う。
- ・専門家から原子力や放射線の正しい話を聞いた。
- ・学生同士の意見交換やシニアとの議論により知識を深められる。

(b) ややある

- ・ 団塊世代の話を聞くのは有意義。
- ・ もう少しつっこんだ話を聞きたかった。
- ・ 経験から得られた知識を得ることができる。
- ・ なかなか経験できないことで魅力的であった。しかし、学生目線より少し上なのでそれには抵抗があった。
- ・ 対話というか講義のようでもあったが、非常に詳しく説明してくれ勉強になった。詳しくすぎてついていけない部分もあった。
- ・ 経験者や経歴のある人との話し合いは、互いに得るものがあると思う。

(5) 今後機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか。



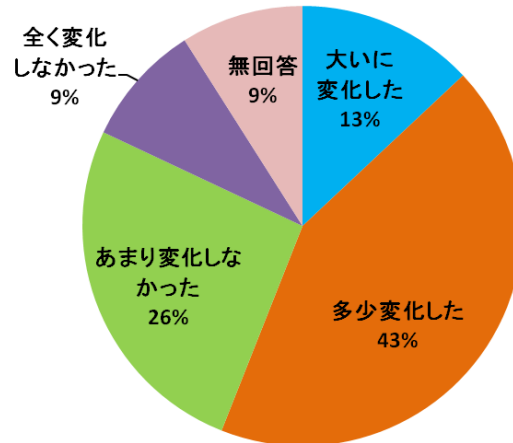
(e) その他（空欄に記入）

- ・ テーマによる
- ・ また違った視点から話をするのであればしたい。

4. エネルギー・原子力に対する認識の変化

(1) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？

エネルギー危機に対する認識の変化



(理由)

(a) 大いに变化した

- ・原子力発電の重要性が再認識できた。
- ・太陽光発電など新しい発電方式で解決できると思っていたが、それらの費用が高いことがわかり、危機感が高まった。
- ・原子力発電が安全であることがわかった。

(b) 多少变化した

- ・知識が増えたので。
- ・人口増加に対しては、原油の減少が起きていること、それが深刻になっていることを知った。
- ・新しい知識を得たので多少変わった。
- ・火力発電に必要な石油、石炭に対し、原子力発電のウランは再利用できる。またウランは海から回収することもできると聞いて驚いた。
- ・今まで原子力に反対であったが、反対する気持ちが弱まった。
- ・知らなかった放射性物質の性質等を知ることができた。
- ・原子力の有用性とともにも他の自然エネルギーなど知っていく中で、国によって選択肢は異なるとの考えをもった。
- ・竹内先生の話がとてもおもしろかった。衝撃的でした。
- ・原子力や放射線は、かなり身近なものだと気付かされた。

(c) あまり変化しなかった

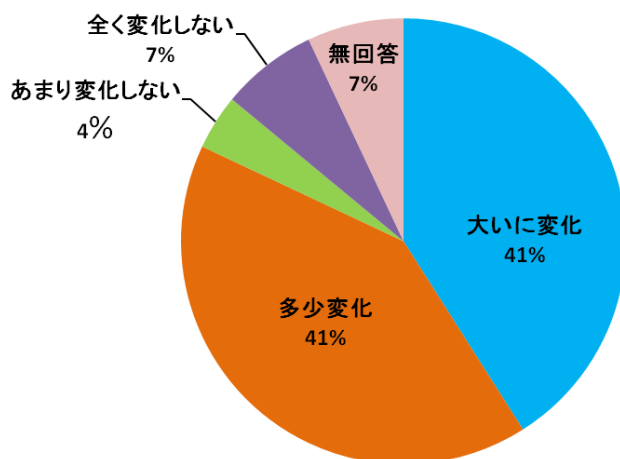
- ・もともと知っていたが多かった。
- ・前から危機感をもっていた。
- ・前からもっていたイメージ通り。

(d) まったく変化しなかった

- ・知っているが多かった。
- ・もともと危機感があった。
- ・化石燃料の枯渇はいなめない。

(2) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

原子力に対するイメージの変化



(理由)

(a) 大いに変化した

- ・シニアの話の中で原子力発電所の素晴らしさが強調されていた。
- ・安全第一であれば、原子力は非常に便利であるとわかった。
- ・安全面にしっかり気を配れば、危険ではないことがわかった。
- ・危ないと思っていたが、現実には厳しい管理のもと制御されていることを知った。
- ・単に恐ろしいというイメージから、使い方によってはこれからの地球を救うかもしれないものであるという考えになった。
- ・廃棄物のことを初めて詳しく知ることができた。
- ・今まで原子力は危ないものとしか認識していなかった。
- ・原子力は思った以上に安全であると思った。
- ・今まで原子力についてほとんど知らなかった。

(b) 多少変化

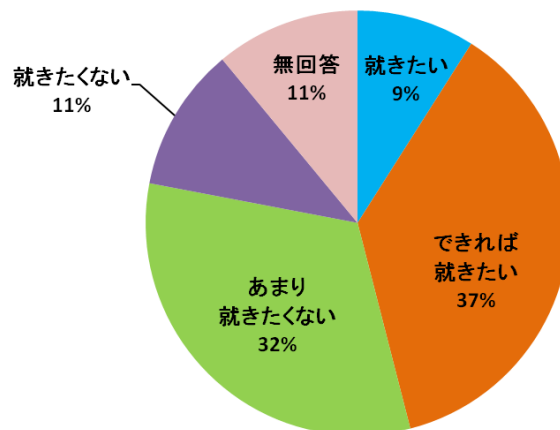
- ・原発の事故がニュースで大きく取り上げられているが、安全性は大丈夫であることがわかった。
- ・原子力発電所は、思っていたよりも安全に作られていることがわかった。
- ・怖いと思っていたが怖くなくなった。
- ・安全性を守るために、これほど堅固な対策を立てていることを知ることができた。
- ・原子炉の構造について、詳しく聞くことができ、安心度が上がった気がする。
- ・他国の現状を知って今後どのように原子力とつき合うべきか考える必要があると思った。
- ・原子力発電所付近では放射線が出ていると思っていたが、多くの壁で外に出さないようにしていることがわかった。

(d) まったく変化しない

- ・やっぱり原子力は大事だなあとあらためて納得した。
- ・普通に発電していて危険ではないと知っていた。

5. 将来放射線・原子力に関連する仕事につきたいですか。

将来放射線・原子力に関連する仕事に就きたいか



(理由)

(a) つきたい

- ・深く考えていないが、これを選択肢にする。

(b) できればつきたい

- ・原子力がそれほど危険でないことがわかった。

- ・興味がある。様々な分野の利用がある（放射線関係か）
- ・放射線は様々な利用法があり、これからの発展が楽しみ。
- ・農学関係につきたいため、放射線利用も考えたい。
- ・今日の対話を通して大事な仕事に思いました。
- ・とても興味深い分野なので。
- ・怖いと思ったが、説明を聞き怖くないことがわかった。
- ・放射線、原子力について興味がわいた。
- ・もともと興味があった。

(c) あまりつきたくない

- ・今のところあまり興味がない。
- ・他につきたい仕事がある。
- ・恐怖からというのではなく、すでに将来別のことを考えている。しかし、無関心でいたいとは思わない。

(d) つきたくない

- ・学芸員になりたいので。
- ・他にやりたい仕事がある。

6. その他

(1) 原子力に対する関心の低い10代、20代の若年層に対する原子力広報活動はどんな方法が良いと思いますか？

- ・話だけでは飽きてしまう。ビデオなどで広報。
- ・TVがもっとそのような放送を流せばよい。
- ・正しい情報を学校で教育。
- ・TVコマーシャル。
- ・学校で教育。見やすい若年層向けの雑誌でPR。
- ・嫌味にならない程度にTVコマーシャル。
- ・原子力発電所の見学。
- ・インターネットなど、10代、20代の若者が見るものに対して広告する。
学校で小さい頃からの教育。
- ・そもそも無関心なのは、教育の中で原子力を扱っていないため。とにかく教育の中で原子力について触れること。そして多面的にアプローチ。
- ・安全面を十分に教えるべき。
- ・今回の対話みたいなものを、くり返し、くり返しやること。

(2) 本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に書いてください。

- ・約半世紀も年が離れた人と話す機会は自分の祖父母を除くとあまりないので、良い経験になった。
- ・非常に良い機会であった。年配の方の熟した見解を聞けてよかった。
でも、少し年の差の抵抗を感じたかなあ。本日はありがとうございました。
- ・楽しく原子力について学ぶことができてよかった。
- ・経験豊かな話を沢山聞くことができてよかった。
- ・当初面倒だと思った。しかしシニアの方々とは対話できたことはとても良い経験になり、真面目な話題ながらも知識が得られ、とても楽しかった。
- ・随分楽しかった。またやってみたい。
- ・最初は不安でしたが、参加できてよかった。
- ・面白かったです。世代が違うからこそ得られる意見もあって、とても参考になった。
- ・違う年代の専門家と交流することによって、自分の知識を増やすこともできたし、自分自身も友人や次の世代に教えていかなければならないという責任感をもつことができた。
- ・とても楽しい対話でした。特に竹内先生のお話が印象的でした。
また、原子力の安全性についても知ることができ、満足のいく会でした。
しかし、多少話がずれてしまったり、学生から対話に入りきれていなかったところも見られたので、その点を改善するとよりよい対話になると思う。
- ・貴重な体験ができとてもよかった。

H22年 8月 2日

加藤